令和2年12月2日

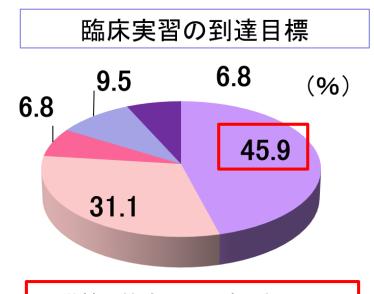
現在行われている 「臨床実習前後での指導について」

―新カリキュラム改訂に関するアンケート結果から―

日本臨床工学技士教育施設協議会

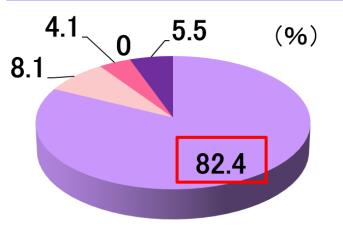
JAEFCE会員校84過程へのアンケート(回収率89%)

学生・施設に明示している到達目標及び評価基準



- ■学校で策定した到達目標
- ■日臨工の臨床実習ガイドライン
- ■各都道府県技士会のガイドライン
- ■明示していない
- ■その他





- ■学校で策定した評価項目・基準
- ■他校と統一した評価項目・基準
- ■実習先と検討した評価項目・基準
- ■明示していない
- ■その他

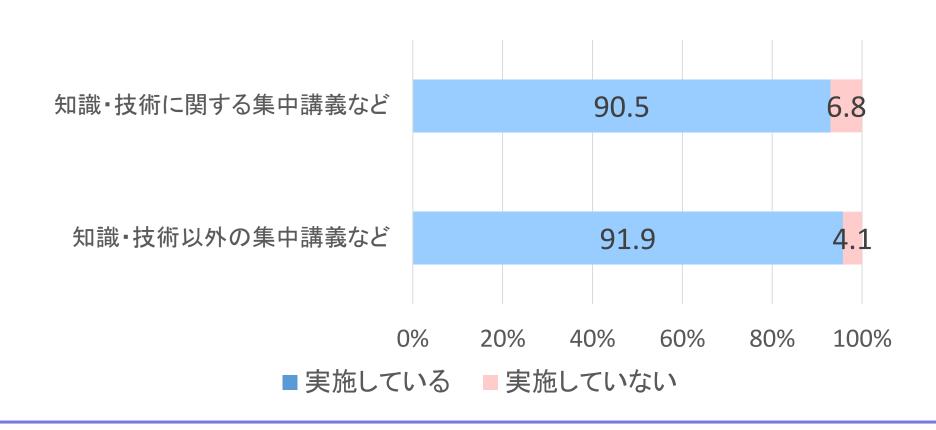
☆ ほとんどの施設で到達目標・評価基準は独自作成



実習前後の指導・評価も施設ごとに工夫して実施

JAEFCE会員校84過程へのアンケート(回収率89%)

現在実施している実習前指導について



☆ ほとんどの施設で実習前の集中講義を補習として実施



教科書を基に各校独自の評価を実施していると推測

※臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本:丸善出版 参照

- ① 知識・技術に関する項目
 - 1) 血液透析療法業務
 - ・腎臓の働き
 - 透析患者の病態生理
 - 薬物療法
 - 透析原理
 - ・治療モード

- 透析液
- ・膜の種類
- 抗凝固剤
- 設定条件
- 注射薬剤

- 水処理装置
- 水質管理
- 栄養指導
- ・バスキュラーアクセス

- 2) 循環療法業務
 - A. 人工心肺業務
 - 回路構成とそれぞれの役割
 - ・周辺機器とそれぞれの役割(心筋保護装置や自己血回収装置など)
 - 血液希釈について
 - 人工心肺手術の適応疾患と術式ごとの手術の流れ
 - 各種検査項目およびモニタリング項目と正常値について

2) 循環療法業務

- B. 補助循環
 - PCPSの回路構成と人工心肺における管理との違い
 - IABPの治療原理
- C. 心臓カテーテル検査室業務
 - 各検査項目の正常値、正常波形、正常画像
 - ・心臓カテーテル検査の手順
 - 通常の検査で使用する一般的な使用機材
 - IVUS、OCT、FFRなど造影以外の冠動脈評価デバイス
 - ・心血管インターベンション治療用デバイスの種類
- D. ペースメーカ業務
- 体外式ペースメーカと植え込み式ペースメーカの違い
- · 心電図
- ペーシングリード(電極)留置時のセンシング、ペーシング確認
- ICHDコードの意味とよく使用されるモードの意味
- プログラマによる定期のペースメーカチェック

3) 集中治療室業務

- A. 人工呼吸療法
- ・人工呼吸器の回路構成
- ・一般的な呼吸モード
- 人工呼吸器の点検
- B. 急性血液浄化療法
 - ・治療法ごとの回路構成
- 4) 手術室業務
 - ・内視鏡手術(機器と手術の流れ)
 - ・脳外科手術(機器とCEの業務)
 - ・眼科手術に使用される機器
 - 手術室の医療機器管理(表1)
- 5) 医療機器管理業務
 - ・医療機器の日常点検
 - ・医療機器の定期点検
 - 電気的安全性点検

- NPPVの回路構成を呼吸モード
- ・医療ガス設備

・治療法ごとの適応疾患

表1 手術室で管理する機器

1	麻酔器	6 間欠的空気圧迫装置
2	電気メス	8 パルスオキシメータ
3	レーザメス	9 カプノメータ
4	除細動器	10 心電計
5	超音波治療装置	11 血圧計

- 病院電気設備の安全基準
- ・滅菌、消毒などの感染対策

※臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本:丸善出版 参照

(2) 知識・技術以外の項目

1)実習前準備

- ・実習施設の特徴
- 臨床実習での積極性
- ・時間管理
- 臨床実習レポートの書き方
- ・実習目標の立て方
- 身だしなみ
- ・指導者への報連相
- 自己管理
- 必要物品
- 事故への対応

2) 患者との関わり

- ・透析患者の特徴
- ・循環器疾患をもつ患者の特徴
- ・集中治療室の患者の特徴
- ・手術を受ける患者の特徴

- コミュニケーションの重要性
- ・情報の管理
- ・患者対応の事例と対応方法

臨床実習後にはこれらの項目に関連して実習報告会を実施



個々の反省点などを報告 ⇒ 必要に応じて適宜指導